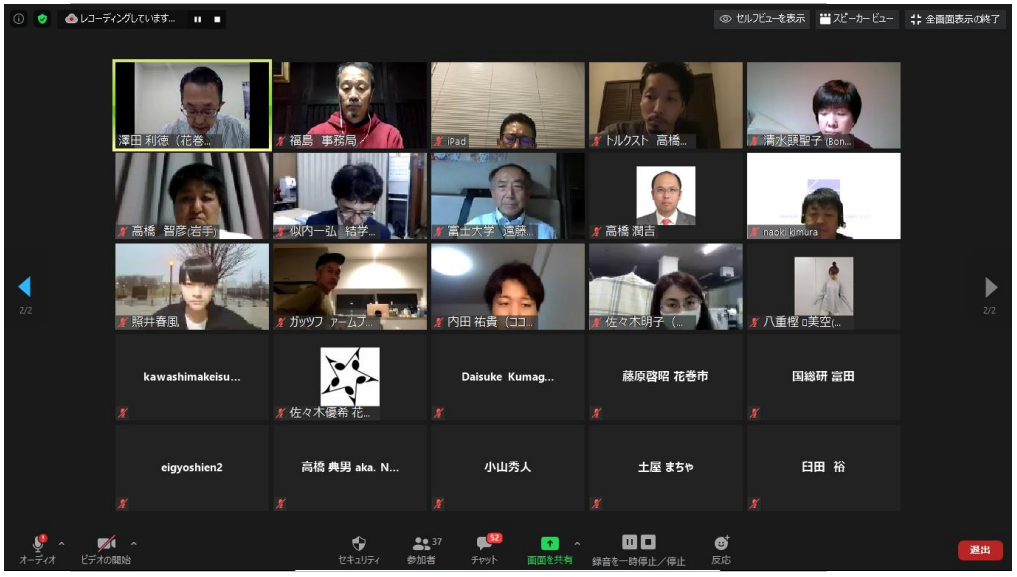
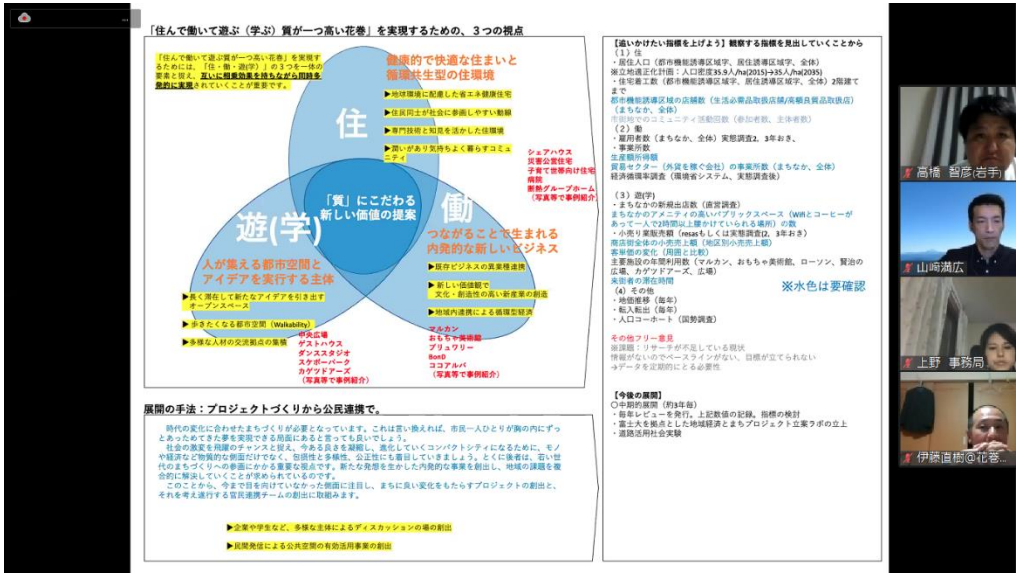
レコーディングしています...
セルフビューを表示
スピーカービュー
全画面表示の終了
佐々木 江美
北@事務局
ケイテ 伊藤
青木 純（策定部...
山崎満広
上野 事務局
伊藤直樹@花...
小友康広 花巻...
福田一馬/吹張...
長井 謙
高橋久美子
澤田 利徳（花巻...
福島 事務局
iPad
トルクスト 高橋...
満水頭聖子 (Bon...
高橋 智彦(岩手)
似内一弘 結学...
富士大学 遠藤...
高橋 潤吉
naoki kimura
照井春風
ガッツフ アームブ...
内田 祐貴（ココ...
佐々木明子（...
1/2
オーディオ
ビデオの開始
セキュリティ
参加者
チャット
画面を共有
録音を一時停止/停止
反応
退出


レコーディングしています...
セルフビューを表示
スピーカービュー
全画面表示の終了
澤田 利徳（花巻...
福島 事務局
iPad
トルクスト 高橋...
満水頭聖子 (Bon...
高橋 智彦(岩手)
似内一弘 結学...
富士大学 遠藤...
高橋 潤吉
naoki kimura
照井春風
ガッツフ アームブ...
内田 祐貴（ココ...
佐々木明子（...
八重樫 □美空(...
kawashimakeisu...
佐々木優希花...
Daisuke Kumag...
藤原啓昭 花巻市
国総研 富田
eigyoshien2
高橋 典男 aka. N...
小山秀人
土屋 まちゃ
臼田 裕
2/2
オーディオ
ビデオの開始
セキュリティ
参加者
チャット
画面を共有
録音を一時停止/停止
反応
退出


「住んで働いて遊ぶ（学ぶ）質が一つ高い花巻」を実現するための、３つの視点
「住んで働いて遊ぶ質が一つ高い花巻」を実現するためには、「住・働・遊(学)」の３つを一体の要素と捉え、互いに相乗効果を持ちながら問題を発的に実現されていくことが重要です。
住
継続的で快適な住まいと
循環共生型の住環境
▶地球環境に配慮した省エネ健康住宅
▶住民同士が社会に参画しやすい勤額
▶専門技術と知見を活かした住環境
▶開いがあり気持ちよく暮らすコミュニティ
シェアハウス
災害公営住宅
子育て世帯向け住宅
病院
断熱グループホーム
（写真等で事例紹介）
働
つながること で生まれる
内発的な新しいビジネス
▶既存ビジネスの異業種連携
▶新しい価値観で
文化・創造性の高い新産業の創造
▶地域内連携による循環型経済
マルカン
おもちゃ美術館
ブリュクリー
BonD
ココアルバ
（写真等で事例紹介）
遊(学)
人が集える都市空間と
アイデアを実行する主体
▶長く滞在して新たなアイデアを引き出すオープンスペース
▶歩きたくなる都市空間（Walkability）
▶多様な人材の交流拠点の集積
中央広場
ゲストハウス
ダンスタジオ
スケボーパーク
カゲツドアーズ
（写真等で事例紹介）
「質」にこだわる
新しい価値の提案
展開の手法：プロジェクトづくりから公民連携で。
時代の変化に合わせたまちづくりが必要となっています。これは言い換えれば、市民一人ひとりが胸の内にずっとあったあてさた夢を実現できる局面にあると言っても良いでしょう。
社会の激変を問題のチャンスと捉え、今ある良さを凝縮し、進化していくコンパクトシティになるために、モノや経済など物質的な側面だけでなく、包摂性と多様性、公正性にも着目していきましょう。とくに後者は、石い世代のまちづくりへの参画にかかる重要な視点です。新たな発想を生かした内発的な事業を創出し、地域の課題を複合的に解決していくことが求められているのです。
このことから、今まで目を向けていなかった側面に注目し、まちに良い変化をもたらすプロジェクトの創出と、それを考え遂行する官民連携チームの創出に取組みます。
▶企業や学生など、多様な主体によるディスカッションの場の創出
▶民間発信による公共空間の有効活用事業の創出
【追いかけたい指標を上げよう】観察する指標を見出していくことから
（1）住
・居住人口（都市機能誘導区域平、居住誘導区域平、全体）
・人口密度35.9人/ha(2015)→35.人/ha(2035)
・住宅着工数（都市機能誘導区域平、居住誘導区域平、全体）2階建てまで
都市機能誘導区域の店舗数（生活必需品取扱店舗/美顧員質品取扱店）（まちなか、全体）
市民地でのコミュニティ活動回数（参加者数、主体者数）
（2）働
・雇用者数（まちなか、全体）実態調査2、3年おき、
・事業所数
生産額所得額
営業セクター（外貨を稼ぐ会社）の事業所数（まちなか、全体）
経済循環率調査（環境省システム、実態調査後）
（3）遊(学)
・まちなかの新規出店数（直営調査）
まちなかのアメニティの高いパブリックスペース（WiFiとコーヒーがあって一人で2時間以上過ごけていられる場所）の数
・小売り業販売額（resasもしくは実態調査仕、3年おき）
商店街全体の小売売上額（地区別小売売上額）
客単価の変化（同調と比較）
主要施設の年間利用数（マルカン、おもちゃ美術館、ローソン、賢治の広場、カゲツドアーズ、広場）
来訪者の滞在時間
（4）その他
・地価推移（毎年）
・転入転出（毎年）
・人口コーホート（国勢調査）
※水色は要確認
その他フリー意見
現況課題：リサーチが不足している現状
情報がないのでベースラインがない、目標が立てられない
→データを定期的にとる必要性
【今後の展開】
○中期的展開（約3年前）
・毎年レビューを発行。上記数値の記録。指標の検討
・富士大を拠点とした地域経済とまちプロジェクト立案ラボの立上
・道路活用社会実験
高橋 智彦(岩手)
山崎満広
上野 事務局
伊藤直樹@花巻...

北@事務局 の画面を表示しています
オプションを表示
リノベーションまちづくりの背景と本構想の位置づけ
「花巻市立地適正化計画」のリノベーションまちづくりの歩みを踏り、今後の方向性について、委員会として意見を整理
○「花巻市立地適正化計画」の策定
市が花巻市立地適正化計画（平成28年）を策定し、「花巻市の将来を担う若者が定住し、安心して子育てができる環境づくり」を進めるとともに、「住みたい、住み続けたい」と感じる魅力あるまちづくりを展開するための様々な施策について述べています。
その取組の一つとして「リノベーションまちづくり」によって新しいビジネスの創出や公的不動産活用による都市機能の充実などに取組み、活力あるまちなかの創出に取組むことにしています。
○本構想の位置づけ
・民間主導で整理しまとめていく
・子育て世代が住みやすい住環境を作る
・遊休不動産を生かして
新しいビジネスと雇用を生む
花巻の活かすべきポテンシャル
・豊かな自然
・豊富な産業資源
・文化の発信地
・etc
花巻人の特徴
今あるものを活かす
ゆるいつながり
新しいチャレンジに寛容
文化の発信
→これからは個々ではなく全体として挑戦する
ビジョン
今ある資源を大切に活かしながら、包摂性と多様性を併せ持ち、自分たちの発想に基づく新しい価値観のもと今までよりも一段高い品質と持続可能性を追求した「住まい」「働き（仕事）」「遊び（学び）」」を実現
仮）「住んで・働いて・遊ぶ（学ぶ）」の質が一つ高い花巻
（量ではなく質にこだわることが重要）
活力あるまちなかとは、地域の中枢機能のほか、多様で多彩な主体とサービスが集まり、新しい出会いや創造、喜ぎっける遊びや学びの機会が提供されていることが求められます。そして、居間には住まやサービス、交流には住まいや居住、交流など、長時間にわたり、多用途の人が訪山滞在することで、まちなかに賑わいが生まれます。また、職住近接の暮らし方が見直され、まちに住むメリットも生まれてきます。このように、多彩なビジネスコンテンツとともに、住まいや都機能とが調然一体となって人々に提供されている状況がまちなかの活力の要素となります。
このことから、今後は新しい生活様式に合わせ、誰もが参画しやすく質の高い協力的な市街地の形成が求められます。
伊藤直樹@花巻...
長井 謙
澤田 利徳（花巻...
福島 事務局